

## 能登半島地震復興支援 ボランティア パート1

2024年1月1日新たな年を迎えた午後のひと時、能登半島を襲った大震災。3.11 東日本大震災と脳裏に重なった方も多かったのではないかと思います。

アカシア会の介護系事業所の職員3名がボランティアとして支援に入りました。3名の方々に支援を綴ってもらいました。紙面の関係上、3回に分けて掲載します。



### 震災の中でも工夫しながらケアを継続する姿から学ぶ



期間 : 3月20日から3月25日(6日間)

場所 : 石川県羽咋市「たきの一ほむ風和里(小規模多機能型居宅介護)。

事業所: 29名登録(通所15名・宿泊7名)

6日間支援に行かせて頂きました。支援期間中、様々な県からボランティアとして介護職・看護職の方が応援に来られていました。

輪島・珠洲での被害が大きく、事業所が閉鎖した所もあり職員は災害前から約50名程退職したとの事でした。利用者については風和里で受け入れ体制を震災直後早急に準備を行い、訪問件数を増やしながら対応を始めて今に至るといった状況でした。

1/1に災害があった際の夜勤者に話を聞く事が出来ました。夜勤者は出勤して間もなく大きな地震を受け、在宅にいる20人程の利用者を職員で手分けをして迎えに行き、羽咋市の別の小規模多機能施設へ避難誘導を行ったとの事でした。避難先には他事業所の利用者・職員もいる中で数日間過ごしたとの事でした。利用者、職員共に怖い体験であったとの事でした。

震災後にはコロナウィルス感染・インフルエンザ感染がまん延して利用者の身体的・精神的なフォローがとても大変だったとの事でした。

震災後は風和里の利用者も利用終了を検討する方も多くいたが訪問で宅配(事業所で昼食を作り自宅へ届ける)をしてくれるのであれば、と利用継続される方もいたとの事でした。結果、登録人数は減少したが訪問での宅配は震災前の15食程に対して現在は多い時で30食以上の事もあるとの事でした。

入浴についてもこれまで風和里の利用者は通所で入浴していたが輪島・珠洲からの受け入れ利用者の宿泊・通所対応で職員の手が回らない状況から通所を訪問に切り替えて頂く+自宅での入浴をして頂くという体制に変わっていった。その中で独居・老々介護の方については訪問で通所にお連れし入浴サービスのみを行いご自宅に送るといった対応も行っていました。

受入れをしながら羽咋市に住むこれまでの利用者への対応を同時進行で行いながら、その時々で確認・検討を重ね一つ一つ、一人ひとり利用者への支援を行っている様子が言葉と事業所の様子から感じる事が出来ました。

私ができる事と言えばお風呂や排泄、食事の介助やバイタル測定といった位でしたが、職員・利用者の皆さんは入れ替わりくる支援者一人ひとりに対してとても明るく優しく迎え入れて下さり、皆さんから元気をもらってばかりの6日間でした。引き続き支援を継続して行ければと思います。

ふれあい倶楽部・和顔施 下瀬 真司

# 障がい者福祉団体支援 チャリティーコンサート

4月20日(土)三郷市文化会館大ホールで開かれたチャリティーコンサートには、456名の方々が参加し楽しいひと時を過ごすことができました。

一部は、ヘルマンハーブ、合唱、フラダンス、和太鼓 二部は、ピアノ、アコーディオン、八弦ギター ホワイエには、障がいのある方々のアート展示と多彩な企画でした。

●多くの方々からアンケートに協力して頂きました。感想等を掲載します。



## <障がい者アート>

- ・個性かなでるアート作品。思いもあり各々が力作を作り上げたのでしよう。
- ・感動いたしました。
- ・自己表現素晴らしい。
- ・いい企画です。励みになります。



## <ヘルマンハーブ アンサンブルりんのね>

- ・素敵な音色、初めてでした。
- ・演奏、素敵でした。

## <合唱 Re フレンドリー>

- ・皆さんの歌声と澤崎さんの歌声素晴らしかった。
- ・澤崎先生の独唱が素晴らしかった。拝聴できて嬉しかった。
- ・視覚的な事も考えた舞台上で楽しかった。

## <フラダンス ハーラウフラレア>

- ・フラダンス素敵でした。
- ・自分も踊るので楽しめました。

## <和太鼓 二龍太鼓クラブ>

- ・力強く心に響きました。小学生頑張っていましたね。
- ・素晴らしかった。
- ・毎年お願いしたい。





<ピアノ 塩澤美智子さん>

- ・とってもとっても素敵でした。
- ・塩澤さんの謙虚な人柄の語り、優しく美しいピアノよかった。

<アコーディオン Miyack さん>

- ・タンゴを踊る姿が目には浮かべました。
- ・ラ・クンパルシータ 懐かしくて涙がでました。

<八弦ギター 池田宏里さん>

- ・八弦は、はじめてです。素晴らしいです。
- ・ピアノ、ギター、アコーディオンのコラボ素晴らしい。

<全体>

- ・素敵な時間をありがとうございます。このような企画素晴らしい。
- ・大変元気をもらいました。癒されました。
- ・もっとたくさんの方々に宣伝して参加してほしいと思います。

## とっても いい話

職員お二人に赤ちゃんが誕生しました。そして最近、職場復帰しました。喜びと近況などを掲載します。共に喜び合いたいと思います。❤



昨年の6月に女の子が生まれました！名前は紗寧(すずね)です。

保育園に通い始めてからは甘えん坊になってしまい大変ですが、いつもニコニコと周りを和ませてくれます♪

主人は可愛がりすぎて嫌がられることがあります(笑)

就労移行支援事業所ラ・ポルタ 元山 彩乃



昨年の七夕に生まれた凜香(りんか)です。沢山食べて動いて笑って毎日楽しませてくれます。



クリニックふれあい早稲田  
看護師 小林佳歩



## 事業所あれこれ

### いちご狩りに行きました

GH アカシアの家ファンハウス



4月にファンハウスの入居者の中で希望いただいた方  
達でいちご狩りに行きました♪  
それぞれ美味しそうないちごを沢山いただきました♪  
中には酸っぱいのを食べてしまい、顔をしかめる方も♪  
持ち帰ろうと策を考えたり・・・個性も様々？自分たちの  
手でもいで食べるイチゴは格別でしたね♪  
次は何を狩りに行こうかと今から計画しています(笑)



## 津田修治先生 ご紹介



研究チームでドイツに調査に  
いった時の一コマ  
左から2人目

皆さんこんにちは。クリニックで毎週月曜日にももの忘れ外来やグループホームの訪問診療を担当させていただいています津田修治です。

他の曜日には、板橋区にある東京都健康長寿医療センター研究所で、認知症のある人が主体的に生きるための支援について研究しています。

もし自分が認知症になっても、晴れた日には外でジョギングしたいし、ビールを飲みに行って人と出会いたいし、自分にできる仕事をしたいです。その認知症が進行しても、気に入った洋服を着て過ごしたいし、時にはレストランで食事もしたいし、何気ない会話を楽しみたいです。そんな気持ちに応える支援を、誰もが当たり前のよう実践できる社会は、どうすれば実現できるのか、研究を通して明らかにしていきたいと考えています。

研究の世界には、臨床とは異なる奥深さがあり、知識や技術を一から身につける必要があります。そのプロセスを楽しみながら、日々努力しています。また、研究で学んだことをクリニックでの仕事にも役立てていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

### 【編集あれや これや】

通信は2ヶ月毎に発行しています。本来であれば5月の発行の予定でしたが、諸事情のため1ヶ月遅れの発行となりました。今回も、アカシア会の多様な取り組みが反映された通信となりました。(Na)